

超!有名曲シリーズ in 四日市

セントラル愛知交響楽団



PROGRAM

管弦楽: セントラル愛知交響楽団

ウェーバー ◆ 歌劇「魔弾の射手」より 序曲
メンデルスゾーン ◆ ヴァイオリン協奏曲*
チャイコフスキー ◆ 「くるみ割り人形」組曲
ボロディン ◆ 歌劇「イーゴリ公」より 韃靼人の踊り

2023 **9/10** 日

14:00開演(13:15開場)

四日市市文化会館第1ホール

全自由席(税込) 一般¥2,000 U25¥1,000

※未就学児入場不可。※U25は公演日に25歳以下対象、来場時に年齢確認あり。(要身分証明書)
※やむを得ない事情で出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。



指揮
角田鋼亮 (常任指揮者)

ヴァイオリン
辻彩奈*

©Hikaru Hoshi

©Makoto Kamiya

チケットのお申込み・問い合わせ 6月14日(水)10:00～発売開始

セントラル愛知交響楽団 052-581-3851
10:00～17:30(土日祝を除く)



HP <http://www.caso.jp>

- ◆ クラシック名古屋 052-678-5310
- ◆ アイ・チケット 0570-00-5310 [アイ・チケット web](#)
- ◆ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:244-527)
- ◆ 愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430



オーケストラ・キャラバンについて

「オーケストラ・キャラバン」は、文化庁のアートキャラバン2(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業)により開催されます。

新型コロナウイルス感染症によって、芸術に触れる機会が遠のいた人々に再び芸術を鑑賞する喜びを体験していただくとともに、文化芸術の質の向上や重要性和魅力の発信を目的として、全国各地で開催されます。

繊細な最弱音から迫力ある最強音まで、オーケストラの多彩な楽器が奏でる「生」の音楽の魅力をお楽しみください。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



角田 鋼亮 (指揮)

Kosuke TSUNODA

©Hikaru Hoshi

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌響、山響、仙台フィル、N響、読響、都響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、九響などと共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拓いている。2016年「第11回名古屋音楽ペンクラブ賞」、2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞している。

<http://kosuketsunoda.com>



辻 彩奈 (ヴァイオリン)

Ayana TSUJI

©Makoto Kamiya

1997年岐阜県生まれ。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。モントリオール交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ベトナム国立交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団など国内外の主要オーケストラと共演している。2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まち絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。東京音楽大学卒業。2019年、ジョナサン・ノット指揮/スイス・ロマン管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748である。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。

2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別



客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2023年度はアソシエイトコンダクターとして松川智哉、リカルド・A.ゴンザレスが就任。

定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」「オペラセミステージ」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。

2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。